

自己点検及び自己評価表

東京国際文化教育学院
(京進ランゲージアカデミー秋葉原校)

5:達成できている 4:かなり達成できている 3:ふつうである 2:やや不足している 1:改善の必要がある

I、教育理念・目的等

評価欄

1、	理念・目的・育成・人材像は明確に定められているか	4
2、	学校の特色は明確になっているか	5
3、	学校の将来構想を具体的に抱いているか	4
4、	理念に基づいて教育が行われているか	5

<現状・具体的な取り組み>

『一人一人を大切にする』という理念のもと、アットホームな雰囲気職員と学生の距離を近く保つようにして、学生が何でも相談できる環境を整え、一人一人丁寧に指導することができている。

II、学校運営

評価欄

1、	運営方針は明確に定められているか	4
2、	事業計画は的確に定められているか	5
3、	運営組織や意思決定機能がしっかりと構築され、効率的なものになっているか	5
4、	人事や賃金での処遇・職場処遇の改善に関する制度は正しく整備されているか	4
5、	情報システム化等による業務の効率化が十分に図られているか	4
6、	学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が正しく整備されているか	4
7、	危機管理体制は的確に整備されているか	4
8、	施設・設備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるように整備されているか	4

<現状・具体的な取り組み>

『学生を希望校に進学させる』ことを第一目的として、その目的に向かって職員一人一人が主体的に動くことを徹底しており、このことが効率良い学校運営に繋がっている。運営責任者の決定が非常に早いため、他の職員も良いペースで業務を進めることができている。また職員間のコミュニケーションはしっかりとれている。今後の課題はITの活用と施設の強化である。

Ⅲ、教職員

評価欄

1、	教育理念・目的が教職員間で十分に共有されているか	5
2、	教育の質の向上をさせるための取り組みが十分に確立されているか	5
3、	教職員評価を的確に行っているか	5

<現状・具体的な取り組み>

3ヶ月に1度、非常勤講師も含めた教員会議と研修会を実施しており、お互いの気付きや工夫を共有して、スキルアップに繋げるようにしている。評価は教師アンケートを通して、実施している。

Ⅳ、教育活動

評価欄

1、	カリキュラムは体系的に編成されているか	5
----	---------------------	---

<現状・具体的な取り組み>

今年度より1年目はN3レベルを目指す、2年目は目的別にクラス編成して進学を目指すというカリキュラムに変更。2年目は実力テストを実施することにより、日本語学校のカリキュラムと受験勉強がしっかりリンクするようになった。

Ⅴ、学生支援

評価欄

1、	進学・試験指導に関する体制は十分に整備され、有効に機能しているか	5
2、	学生相談に関する体制が適切に整備され、有効に機能しているか	5
3、	学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを行う十分な体制があり、有効に機能しているか	5
4、	学生寮等、学生の生活環境への支援は適切に行われているか	5
5、	保護者と適切に連携しているか	4
6、	卒業生への適切な支援体制はあるか	4
7、	入国・在留関係の指導と支援が適切に行われているか	5
8、	日本を理解するための支援が適切に行われているか	5

<現状・具体的な取り組み>

入学時のオリエンテーション、また定期的に生活指導、進学オリエンテーション、個別カウンセリングを実施して、一人一人をケアしている。出席率を1か月単位で学生に配布し、適宜面談を実施している。問題のある学生については、必要に応じて、親に報告を入れている。寮に関しては、設備を定期的に点検し、居住者にヒアリングしている。

Ⅵ、在留管理と生活指導

評価欄

1、	入国・在留管理の指導と支援が適切に行われているか	5
2、	日本社会を理解するための支援が適切に行われているか	5
3、	我が国の法令を遵守させる指導を適切に行っているか	5
4、	常に最新の学生情報を適切に把握しているか	5

<現状・具体的な取り組み>

定期的に生活指導、ビザ手続き面談を実施している。また必要な情報はFacebookやwechat機能を使って学生に通知している。

Ⅶ、学生の募集と受け入れ

評価欄

1、	学生の受け入れ方針は明確に定められているか	4
2、	学生募集活動は、適正に行われているか	4
3、	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
4、	入学選考は、適切かつ公平な基準に基づき行われているか	4
5、	適正な定員設定および在籍者数になっているか	5

<現状・具体的な取り組み>

受け入れ人数、在籍者数、募集選考等しっかり管理できている。今後精神的なケアについても検討する必要があると考えられる。

Ⅷ、財務

評価欄

1、	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	5
2、	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	5
3、	財務について会計監査が適正に行われているか	5

<現状・具体的な取り組み>

会計監査は年1回実施されている。

Ⅸ、法令等の遵守

評価欄

1、	法令、設置基準等の遵守と適切な運営がなされているか	5
2、	個人情報に関し、その保護のための対策が十分に行われているか	5
3、	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
4、	自己点検・自己評価結果を公開しているか	5
5、	関係省庁への定期報告を遅延なく実施しているか	5

<現状・具体的な取り組み>

毎日の事務会議、月一回の職員会議で随時確認し、各担当者が対応している。

Ⅹ、社会貢献

評価欄

1、	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	3
2、	学生のボランティア活動を奨励・支援しているか	3

<現状・具体的な取り組み>

取り組みはしていない。

XI、教育成果

1、 成果の判定

評価欄

1) 進路および卒業・修了の判定が適切に行われているか	5
2) EJU、JLPT等の外部試験結果を把握し、適切に管理されているか	5

2、 卒業生の状況把握

評価欄

1) 卒業生の状況を把握するための取り組みを行っているか	4
2) 卒業後の進路を把握しているか	5
3) 進学先、就職先等での状況や、卒業生の社会的評価を把握しているか	4

<現状・具体的な取り組み>

ビザの更新、変更以外に、卒業後の把握については今後の課題としている。